

The Hawaii Japanese School (2021年10月23日)

学校だより (25)



事務所 : ☎ 947-3111 授業日 : ☎ 291-1591 <https://www.hjschl.org>

e-mail info@hjschl.org

絵画・工作コンクール、応募が始まりました

先週お知らせした「レインボー学園 絵画・工作コンクール」の応募が始まりました。

締切は11月13日(土)になります。

オンライン上でのコンクールとなりますが、子どもたちが、自分の描きたいもの、創りたいものを、想像力を膨らませて作品にしてくれることを願っています。

保護者の皆様からも、描いたり創ったりして応募してみてください。どうか、子どもたちに一声おかけいただけますよう、よろしくお願いいたします。



宿題の意義について

土曜日のレインボーの授業が終わると、各教科から宿題が出されます。それが、かなりの量になる日もあります。宿題を授業日前に夜遅くまでかけて一気にやる子もいれば、週末に遊ぶのを我慢してやる子もいると思います。しかし、あまり宿題をやらずに授業に参加する子もいると思います。

そこで、宿題の意義について2つ。

1つめは、宿題をやるのは、「再認識する(recognize)」必要があるということです。

人間は「忘れる」動物で、学習しても、20分後には42%忘れ、1時間後には56%忘れ、24時間後には70%ほど忘れと言われます。なので、学習したことをもう一度復習し、「あっ、そうか」と再認識することが大変重要です。この再認識が「身に付ける」ことにつながり、「学習を深める」ことにつながります。

よって、宿題は忘れたころにやるのではなく、その日のうちに行って「あっ、そうか」と思えば、大変学習効果があると言えます。

2つめは、「宿題を自分のためにやる」と考えられることが、自立の一步であるということです。宿題をいつやるのか、何分ぐらいでやれそうなのか、どのように進めていくのかを、自分で考え、計画し、行動することが大切です。

確かに、先生方や保護者の方に宿題を見てもらって褒められると、とてもうれしいことだし、それが意欲につながることもあります。子どもたちが成長していく過程において、周りからの様々な支援はもちろん必要ですが、それらを通して育てる力は、自分で自分を律する心だと思います。

「宿題は、見てもらうからやる」のではなく、「自分の力を伸ばすためにやる」と考えられるようになると、子どもたちの力は大きく伸びるのではないかと思います。

宿題の取組に関して、子どもたちみんながそんな姿を見せてくれることを、心から願っています。

<下記のサイトより最新の情報が確認できます>

CDC

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/index.html>

ハワイ保健局

<https://health.hawaii.gov/docd/advisories/novel-coronavirus-2019>

在ホノルル日本国総領事館

http://www.honolulu.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html



保護者の皆様やお子様の皆様の心配ごとや悩みごと、不安などを少しでも軽減することができたらと考え、学校相談窓口を開設しております。もし相談したいことがおありでしたら、下記のメールアドレスにメールをお送りください。

メールアドレス：soudan@hjschl.org (火～土)